

開催報告

第5次下関市市民活動促進基本計画に関する市民協働参画ワークショップ 「市民活動をもっと楽しく!ワークショップ」

日時:令和7年9月20日(土)13:30~16:30(3時間) 場所:しものせき市民活動センター 大会議室

参加者:市内に在住または通勤・通学・活動をしている方 18名

ファシリテーター:株式会社リージョナルマネジメント 代表取締役 北尾 洋二 氏

《 目的 》

第5次下関市市民活動促進基本計画(案)から、市民活動や活動団体、まちづくり協議会の5年後の姿をイメージし、市民活動を更に活発化させるしかけをグループワークを通じて考え、ご意見をいただきました!

《 流れ 》

13:30 開会

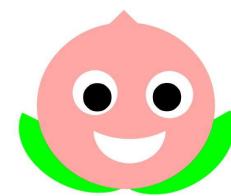
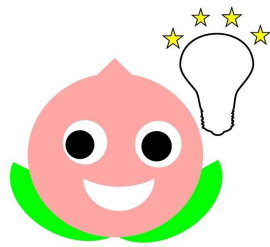
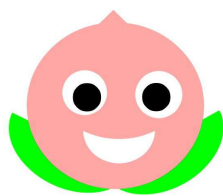
↓ ①第5次市民活動促進基本計画の概略説明

↓ ②ワークショップ開始~ワールドカフェ方式~

↓ *自己紹介・活動紹介タイムあり*

↓ ③ワークショップ終了・アンケート記入

16:30 閉会



基本方針1 幅広い市民活動への参加と協働への理解促進

POINT★情報発信のためにすべきことは？



- ・人が集まる場所に「情報ステーション」を設置する
- ・ボランティアに参加するまでのプロセスが多く分かりづらい
- ・企業や学校からも積極的に情報発信を行う
- ・SNS世代にも手伝ってもらい、効果的な情報発信を図る
- ・将来の下関を担うのは若者であるにもかかわらず、会議には大人しか参加していない

…etc

伝え方重視・使い方の工夫(申込方法・市民活動センター)

基本方針2 市民活動を発展させる環境づくり

POINT★市民活動に参加してもらうにはどのような環境づくりをしたら良いのか？



- ・交通網整備:活動センターの駐車場整備、公共交通機関の充実
- ・参加のハードルを低く:ファミリー層やリモートでの参加を推奨
- ・大学生に頼る:win=winになるマッチングを実施
- ・職場などでの機会創出:職場サークルや学校外での交流を推進
- ・観光客の活用:お祭りの活性化

…etc

アクセスの方法や、参加のハードルを低くする

基本方針3 中間支援機能の充実 ～しものせき市民活動センターの機能拡大～

POINT★ボランティア参加を促すしくみとは？



- ・税や法律などお金に関するプロフェッショナルの支援
- ・有償ボランティアの導入
- ・ボランティアへの参加の動機付けの仕組みづくり
- ・世代を超えた参加を促進する仕組みづくり
- ・外国人グループへのコーディネート支援

…etc

専門家の活用・有償ボランティア制度・大学生の単位認定
多文化共生の視点

基本方針4 住民自治によるまちづくりの推進 ～地域における協働の推進～

POINT★人・お金・宣伝(情報発信)の3つの視点で考えるとどうなるか？

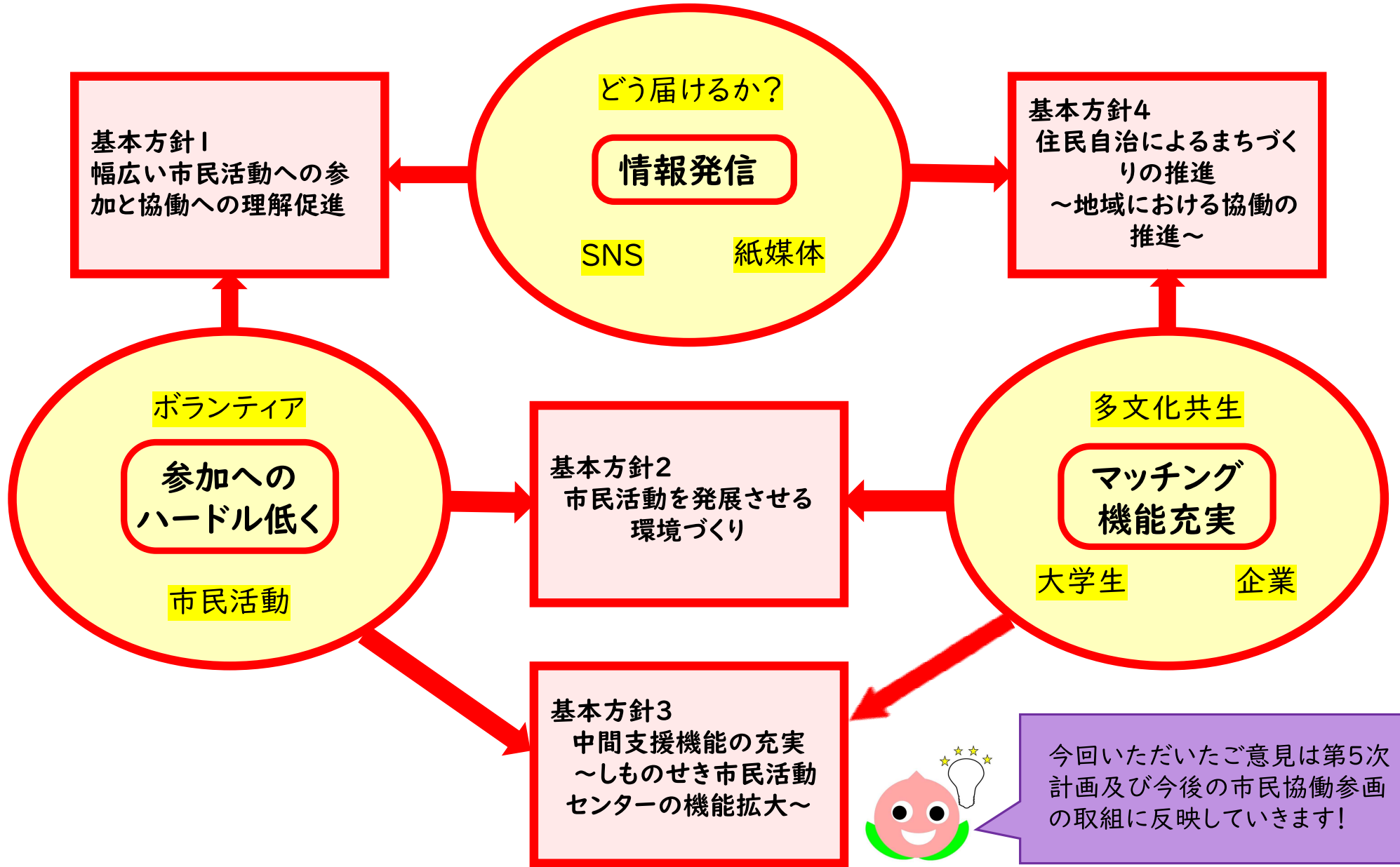


- ・スポンサー企業の参入や、ふるさと納税の活用
- ・市民活動センター発信のYouTubeチャンネルでの情報発信
- ・高齢者から若者へのアドバイスの流れづくり
- ・地域ごとの人材差(大学生やクラブ活動の活用)

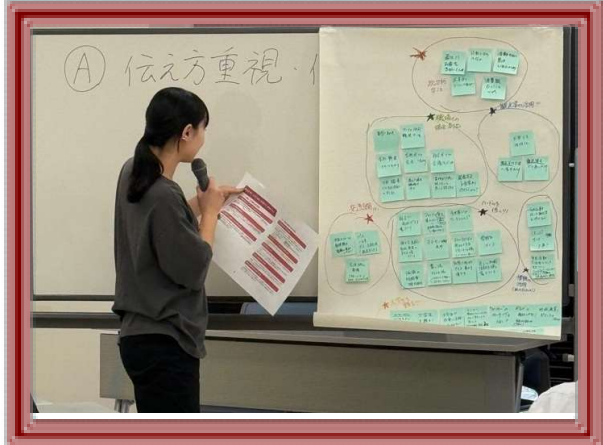
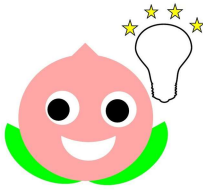
…etc

ヒト・カネ・ネタ(宣伝)の活用、企業とのマッチング

第5次市民活動促進基本計画に対するしかけ(まとめ)



参考:当日の様子



参考：アンケート結果

1 性別 年齢

- ・男性 6人
- ・女性 10人 計16人
- ・10代から20代 5人
- ・30代から40代 4人
- ・50代から60代 3人
- ・70代から80代 3人
- ・年齢不詳 1人

2 本日のワークショップに対する評価

- ・大変良かった 11人
- ・よかった 5人

3 第5次市民活動促進基本計画について、もっと言いたかったことや、ご意見等がありましたらご記入ください。(抜粋)

- ・地方行政についての知識が少なく、あまり良い意見は出せなかったが、このワークショップは自分にとって良い機会だった。
- ・将来を担うのは若者なのに、会議はいつも大人ばかりで、高校生なりの意見を伝えられる場があまりなかったのが、良い経験になった。
- ・交通網に関しての問題は深刻だと思う。市民の活動が活発になるよう検討したほうが良いと思う。
- ・こういった自分の意見が市政やまちづくりに反映できる機会を知らない人々が多くいるのでやはり情報を行き渡らせることが一番大事だと思う。そのための意見がたくさん出たので是非どれか一つでも取り入れて発展してほしいと切に願う。
- ・若い人たちがたくさん入って考えられるように授業などで取組んでもらっては。
- ・似たような状況の地域の計画、またはその成功例などと比較できる機会があればもっとよかった。
- ・何について話し合うか、もっと具体的だとよかった。
- ・学生(小学生高学年～)からのボランティアへの関りが大事だと思う。

4 市民協働参画全般について、ご意見等ご自由にご記入ください。(抜粋)

- ・意見をしっかり取り入れようとしている姿勢がとても良いなと思いました。
- ・市民の声、とくに若者の意思を話せる場所を作って、発信していきたい。
- ・地域で縛りができると、人材の豊富なところとそうでないところではばらつきがでるが、それに対してどういう仕組みが介入すると最も効果的に課題解決できるかをよく考えてほしい。
- ・もっとたくさんの方が自由に参加できると良い。今回は自分の活動的にもとても参考になった。
- ・今日は高校生や大学生、若者が多く多面的なご意見があり、希望が持てる下関になるのではうれしかった。行政が企業との懸け橋になってほしい。
- ・このような多くの発言機会を設けてもらいたい。また、多くの若者参加型も。
- ・一般の方にも広く知ってほしいので敷居をもっと低くしてほしい。
- ・「市民活動」とは。あいさつ運動も地区清掃も子ども食堂もすべてそうだし、下関はお祭りやイベントボランティアも立派な市民活動だとまず知っていただきたい。